

## 「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」 世界農業遺産認定に向けて再申請

奥出雲町農業遺産推進協議会は、世界農業遺産の認定を目指して「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」を農林水産省の国内審査へ申請しました。農林水産省の世界農業遺産等専門家会議による審査を通過すると、FAO（国連食糧農業機関）へ世界農業遺産認定の申請をすることができます。審査の結果は来年2月頃に発表される予定です。



たたら製鉄由来の資源循環型農業  
日本農業遺産・奥出雲町

### 奥出雲町の農業の経緯

奥出雲町は山あいに位置するため、かつては耕地が少なく、真砂土と呼ばれる地力の乏しい大地が大部分を占めていましたが、先人は『たたら製鉄』とともに持続可能な農業を営むことで生計を立ててきました。

### 農業システムの3つの特徴

#### 1. 砂鉄採取跡地の農地造成

たたら製鉄の原料となる「砂鉄」は、鉄穴流しによって山を切り崩して採取しました。その跡地は農地に再生して耕地面積を拡大し、稲作やソバ等を栽培して食料を生産してきました。

#### 2. 和牛による土づくり

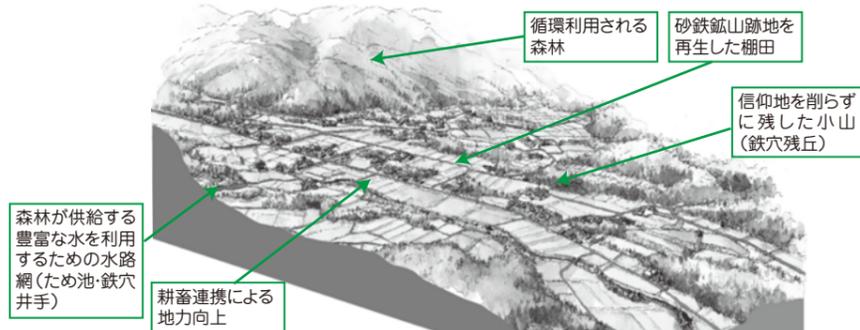
「和牛」は製品鉄の運搬や農耕に使用されたほか、排泄物を肥料にすることで、地力の乏しい土地を肥沃な農地に変えてきました。現在も牛ふん堆肥による土づくりによって循環農業が継承されています。

#### 3. 森林の循環利用

「木炭」を持続的に得るため、森林を約30年周期で輪伐し、萌芽更新による再生によって循環的に利用してきました。現在は、シイタケなどのきのこ栽培の原木供給林として循環利用されています。

たたら製鉄によって奥出雲の農業は維持発展し、仁多米、ソバ、奥出雲和牛、奥出雲椎茸などが特産品となっています。

2019年2月、日本農業遺産に認定されましたが、前回、世界農業遺産等専門家会議から、山を削って水田に転用した経緯や世界的な重要性を示すよう指摘を受けました。当協議会では、これらの根拠を収集、整理して、世界農業遺産への再申請を行いました。



森林が供給する豊富な水を利用するための水路網(ため池・鉄穴井手)  
耕畜連携による地力向上  
循環利用される森林  
砂鉄鉱山跡地を再生した棚田  
信仰地を削らずに残した小山(鉄穴残丘)

たたら製鉄が生んだ特徴的な農業景観俯瞰図

【お問い合わせ】奥出雲町農業遺産推進協議会  
有線: 31-5283 電話: 54-2513



お問い合わせ先  
NPO法人しまね医療情報  
ネットワーク協会  
電話: 0853-2218058

このような方におすすめです  
・複数の医療機関を受診されている方  
・持病、アレルギーをお持ちの方  
・小さなお子様、ご高齢の方  
・複数の薬の処方を受けている方

「まめネットとは...」  
の県民の皆さんのカルテ情報を  
県内の様々な医療機関で共有する  
ネットワークです。  
カルテ情報を共有することで、  
検査や投薬の重複を避け、精神  
的、身体的な負担を軽減するこ  
とができます。また、意識不明  
で救急搬送された場合でも搬送  
先の病院で情報を確認すること  
ができるので迅速に適切な処置  
を受けることができます。

まめネットは  
つながる  
まめネット

## 第21回 奥出雲町子ども・子育て会議を開催

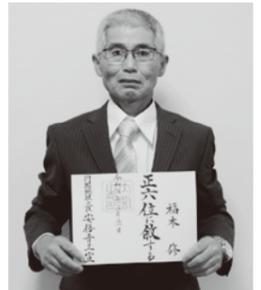
7月17日、役場横田庁舎にて第21回奥出雲町子ども・子育て会議が開催されました。この会議では、奥出雲町の子ども・子育てに関する事業や環境などが審議され、子どもが健全に成長し、子育てしやすい町づくりを目指します。この度、子ども・子育て会議委員として10名が任命されました。会議では、子育てを取り巻く現状や子育てを応援する取組を行っている事業所を認定する「おくいずも子育て応援事業所」の確認などが行われました。



会議の様子

## 特旨叙位受章 故 福本 修さん(鳥上)

福本さんは、昭和56年10月から平成17年3月まで横田町議会議員として、平成17年5月から平成25年4月まで奥出雲町議会議員として、通算8期31年余りの永きに亘り務められ、その間、旧横田町では議会議長、議会副議長、産業建設常任委員会委員長を、奥出雲町に合併後は、議会議長、議会副議長などを歴任され、地方自治の振興と住民福祉の向上に貢献されました。また、横田町農業協同組合理事など多くの要職を歴任されました。平成26年には叙勲(旭日双光章)を受章され、地方自治に大きく貢献された生前の功績が認められ、この度叙位が送られました。



福本修さんのご親族の成美さん

## 「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式及び 青少年非行・被害防止メッセージ伝達式が開催されました

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に併せて、7月8日、役場仁多庁舎において「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式及び青少年非行・被害防止メッセージ伝達式が開催されました。雲南地区保護司会の徳江副会長から内閣総理大臣の「社会を明るくする運動」メッセージを、また、雲南警察署の青木署長から鳥根県知事の「青少年の非行・被害防止」メッセージが伝達されました。

内閣総理大臣からメッセージ:

「犯罪や非行から立ち直ろうとする人を再び地域の輪に迎え、責任ある社会の一員となるよう支えることで、誰もがやり直し、活躍できる社会を構築することが重要です。」

鳥根県知事からのメッセージ:

「子どもたちがネットトラブルに陥るケースが後を絶ちません。ネットに潜む危険性を大人が学び、ルールやマナー、他者への思いやりを伝えることが大事です。」

内閣総理大臣からのメッセージを伝える雲南地区保護司会徳江副会長



## 奥出雲町農業委員会だより

任期満了に伴い、奥出雲町農業委員会の委員の任命と農地利用最適化推進委員が委嘱されました。また、7月20日に開催された総会において、農業委員会の役員が決定しましたのでお知らせします。

- 会長 金倉弘美(阿井)
- 会長 職務代理者 勝部定次(横田)
- 農業振興部会 部会長 安部備造(横田)
- 農業振興部会 部会長職務代理者 宇田川光好(布勢)

	農業委員(18名) 任期:令和2年7月20日~令和5年7月19日	農地利用最適化推進委員(25名) 任期:令和2年7月28日~令和5年7月19日
布勢	宇田川光好・石原敬士	和久利 勝・八澤幹夫・若槻 進
三成	松原武雄・内田吉彦	藤原克己・和久利 健
亀嵩	若槻隆季・石原隆幸	高橋正敏・石原宏二・賀元春男
阿井	立石 覚・金倉弘美	若月勝久・藤原 修・藤原 功
三沢	大坂 茂	小池 誠・山田幸則
鳥上	足立信子・磯田光徳	福本成美・安部治美・卜藏秀夫
横田	安部備造・藤原 功・勝部定次	松原康夫・岩田孝史・若槻 保
八川	高橋政伸・中林 孝	堀尾敏久・永濱孝之・石原 博
馬木	藤原康正・古田川光彦	足立康夫・松島昭夫・原田二郎



任命書交付式の様子



委嘱書交付式の様子